

令和8年度 技術・家庭科（家庭分野） シラバス

1 教科の目標

- ・ 家族・家庭の機能など生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・ 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、見方・考え方を働かせ、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- ・ 自分と家族、家庭生活と地域について見方・考え方を働かせ、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像しようとする実践的な態度を養う。

2 三年間の指導計画の概要

月	第1学年	第2学年	第3学年
4	家庭分野の学習をはじめよう (ガイダンス)	B 衣食住の生活〔食の生活〕	1、2年生習得単元の振り返り
5	A 家族・家庭生活	① 人間にとっての食事	A 家族・家庭と子どもの成長
6	① 今の自分とこれから	② 食品と栄養素	② 幼児の生活と家族
7	② 家庭のはたらきと家庭の仕事	③ 中学生に必要な食事	・ 乳幼児にかかわる小物の製作やおやつの調理
8	③ 様々な家族・家庭	④ 日常食の調理	
9		・ 食品と調理	
10	B 衣食住の生活〔衣の生活〕	・ 肉の調理	
11	① 衣服のはたらきと手入れ	・ 魚の調理	
12	② 布を用いた作品で生活を演出	・ 野菜の調理	
1	・ 布を用いた製作	⑤ 献立づくり	
2		⑥ 持続可能な食生活	
3		C 消費生活・環境	
4	③ 衣服の選択と着方	① 家庭生活と消費	③ 幼児とのかかわり
5	④ 持続可能な衣生活	② 購入・支払いと生活情報	④ 家庭生活と地域のかかわり
6		③ 消費者被害と消費者の自立	⑤ 持続可能な家庭生活
7	B 衣食住の生活〔住の生活〕	④ 持続可能な社会	
8	① 人間にとっての住まい		
9	② 生活に必要な住空間	子どもの成長(3年生単元への準備)	
10	③ 自然とともにある住生活		(3年間の家庭分野学習の総復習)
11	④ 安全で健康的な住生活		
12			

3 授業に向けて

(1) 授業の持ち物

教科書、総合ノート（3年生はハンドノート）、ファイルの3点セット

その他単元に合わせて裁縫道具、エプロン、三角巾、食器布巾

(2) 授業の受け方

授業の内容によって、教室、被服室、調理室で行います。

4 家庭学習の方法

・教科書、総合ノート（3年生はハンドノート）、ワークシートの見直しなど、授業内容の復習に取り組む。

5 評価の観点と項目例

(1) 技能・知識

日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。

項目例；提出物、作品（製作物）、課題、定期考査など

(2) 思考・判断・表現

日常生活について見直し、課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに表現するなどして解決する力を身に付けている。

項目例；学習の様子、実習への取り組み、作品、提出物、課題など

(3) 主体的に取り組む態度

生活や技術について関心をもち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

項目例；学習の様子、実習への取り組み、提出物（期限を守る）、課題、授業準備など

以上の(1)～(3)の3つの観点で評価をします。